

令和4年度 第7回（10月）教育委員会定例会 会議録

日 時：令和4年10月25日（火）15時～16時30分

場 所：村民センター 小会議室

出席者：教育長 清水 閣成

委 員 教育長職務代理者 清水 道直

出羽澤 和子・薄田 東（オンライン）・田中 博美

事務局：清水 勝宏 教育次長

書 記：池上 博子 以上7名

傍聴人：なし

1 開 会

2 教育長あいさつ

○教育委員の皆様には6日に飯綱町に共同調理場視察、19日総合教育会議、21日県市町村教委連絡協議会研修総会、そして本日の定例会とお時間を共有させていただいております。10月の定例会、よろしくお願ひいたします。

3 報告・確認事項

(1) 給食費補助について

教育次長

- ・現在の物価上昇の中、給食費補助について検討している。今年6月には国の交付金から1食6.4円総額200万円を給食の質を落とさないために補助したが、今の状況を考えた時に更に補助の必要性があると思う。3%の物価上昇が伝えられ、給食の食材も物によっては10%以上の上昇もある。全体で3%として、一食当たり今迄で約10円の値上がりとなる。12月補正で一食当たり6.4円との差額3.6円、総額約60万円を1・2・3月の給食費の補助として考えたい。
- ・また、家計の負担を考え児童生徒一人当たりの給食費2か月分を家庭から集金しない形で（1・2月）2か月分約1800万円強を補助したい。
- ・計約1900万円を12月議会に上程していきたい。

教育委員

- ・可能ならお願ひしたい。
- ・全国的に同じような動きがあるか。

教育次長

- ・今迄で、給食費 2 か月分の補助や一食当たり 10 円あるいは 20 円補助をしている自治体がある。全国的に給食の質を下げない、家計の負担を考えての補助がある。今回も、国からの助成金の中からの補助となる。

教育委員

- ・家計の負担を考慮し、いい形で補助が行われることを望む。
- ・各家庭に補助のことを丁寧に伝えていくことを大事にしたい。
- ・給食に質を下げないことが子どもたちにとって大事。

教育長・教育次長

- ・この方向で 12 月議会に補正を上程していきます。

(2) 総合教育会議を終えて

○村長提案について

教育長

- ・総合教育会議ありがとうございました。村長提案について今回に限らず教育委員会で検討を深めていきます。よろしくお願いいたします。

① 給付型奨学金

教育委員

- ・「6年制」についてどう考えるか。
- ・人口の等のデータを丁寧に分析して、提案されている。大きな予算であり、大学進学に向けて対象の人をもう少し絞り込んでもよいのではないか。
- ・大学進学に関しての支援を大事にしたいが、高校を卒業して社会に出る人との不公平感をどう考えるか。地域の方の了解が得られるか。高校卒業までの支援を何か考えられないか。
- ・大学の授業料は高いとともに長野県の場合自宅から通えない場合が多いので、下宿代・生活費等が生じてくる。
- ・留年・退学等の場合、どう考えるか。その場合、世話人の位置づけも関係してくる。
- ・給付型においても「帰村」という縛りが無いのは魅力。

教育長

- ・継続審議の「貸与型奨学金」と併せ「今ある奨学金制度」について、教育委員会で学びを深めたいと考えます。

② 森林環境教育

教育長

- ・前回の定例教育委員会で宮下係長から話をいただき、協議を深めてきている。今回の村長提案を受けお考えがありましたらお願いします。

教育委員

- ・教育・学校だけではできない大きなテーマ。特命担当室が描いている内容・営みと重ねていく必要がある。
- ・大芝高原をどうしていくか、「子どもたちが『どうしたい』」か、子どもの発想を生かし、子どもたちが考え、自分事として考え学んでいくことが大事。
- ・単発活動は子どもに「やらされ感」が生じてくる。活動の位置づけ・意味づけを系統的にどう図るか。重ねて誕生・入学祝植樹を含め、地域の動き・渦が求められる。
- ・机の天板へのアカマツの活用も大事な一つの営みと考える。

教育長

- ・校長会でも話題にし、校長の考えを重ねていきたい。

③ 機構改革

教育長

- ・村長の考えにもあるように、案として子どもに関する部署を一元化する機構改革が今後構築されていくと思います。

教育委員

- ・放課後児童クラブは教育委員会所属とした方が望ましい。新型コロナウイルス感染対応においても、連絡等のやり取りでそのことを実感している。
- ・子育て教育支援相談室も、教育委員会所属の方が動きやすさがあると思う。
- ・教育委員会とこども館が“離れているな”とあってきている。

教育次長

- ・南箕輪村版ネウボラとして描いた時に、一元化となれば機能的な面で動きやすさがあると思う。地域の方のために整備できればという願いがある。

教育長

- ・各自治体で、一元化の動きをしてきている。近隣の状況を参考に検討していきたい。

④ 学校郷土館

教育委員

- ・子どもの学習の場として考えたい。
- ・郷土館の活用を考えた時に、箱モノを造ればという事でなく、外からの見学体験型を大事にしたい。
- ・宮田村図書館併設の「向山雅重民俗資料館」はいいと感じている。

⑤ 村図書館

教育長・図書館長

- ・村図書館協議会において、人口増に対して村図書館が狭いのではないかという課題が出されてきている。村の図書館の在り方と係わることであり、今後の検討していく。

⑥ 教職員及び備品の充実

教育長

- ・体育専科・支援員等学校教育を大事に考えていただいている。備品に関しては、中学校の理科の備品の充実を計画的に行っている。

○村長提案以外

① 給食調理員の給与に関して

教育次長

- ・月給制は、会計年度任用調理員の願いでもあり大事にしたい。
- ・来年度会計年度職員の募集が始まる前に、方向を詰めていきたい。

②（仮称）人材バンクに関して

教育委員

- ・地域の同じ方がいろいろな会等で動かれている。立場の異なる方が出られる場・お力を生かせる場を広げていきたい。今後、大事に温めていきたい。

③ 満蒙開拓記念館「自治体パートナー制度」について

教育長

- ・教育委員会の意向として村長に受け止めていただいた。

(3) 児童・生徒数について <会議資料1>
*会議資料にて報告

(4) 事故報告 <会議資料2>
*非公開

(5) 各委員から

- ・本日参観した体育専科の授業に感動を覚えた。子どもの動き（集合・グループでの活動等）の良さを思う。やることが分かっていて誰一人“ぼーっとしていない”。
- ・自作教具を活かしている。安全面を考えた時に市販の教具の活用も考えたい。
- ・通学路にマスクが落ちている状況がある。今朝 10 枚を出勤途中に拾った。小学校にマナーを大事にという伝えをした。
- ・子どもが外に出て活動した時に「ありがとう」等、感謝の気持ちを受ける重ねを大事にしたい。
- ・「二十歳の集い」を予定しているが、実行委員会形式ができなか。現在高2・1年の学年の保護者に少し働きかけて、先ず成人（18歳）の時に仲間が集い、その延長に二十歳の集いが位置づくことを描けないか。皆で検討していきたい。

(6) 10月事業報告・11月事業計画に <会議資料3>

*会議資料にて報告・確認

(7) 11月定例会日程について

候補日：11月24日(木) 13時00分から 於 村民センター

12月19日(月) 13時00分から 於 村民センター

4 その他

(1) 令和4年度 上伊那社会教育関係者懇談会について <会議資料4>

*会議資料にて日程等確認

5 閉 会